

日本農薬学会第46回大会プログラム

日時：令和3年3月8日(月)～10日(水) ＊オンライン開催

会場：東京農工大学府中キャンパス（〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8）

オンデマンド配信：受賞者講演，特別講演，一般講演，企業・団体セミナー，技術士セミナー

配信期間：3月6日(土)12:00～3月10日(水)17:00

（全ての動画は大会 MyPage より入場して視聴可能）

大会日程

3月8日(月) 東京農工大学府中キャンパス・講堂

総会および授賞式(オンラインライブ配信)

13:30－16:35

会務報告，会計監査報告，議事

日本農薬学会賞授賞式(令和2年度分)

奨励賞

安東大介（住友化学株式会社・生物環境科学研究所）

元木 裕（(独)農林水産消費安全技術センター農薬検査部環境影響審査課）

業績賞(研究)

片木敏行（住友化学株式会社・バイオサイエンス研究所）

清田洋正（岡山大学大学院環境生命科学研究科）

業績賞(技術)

菊武和彦，古谷敬，長谷部元宏，長井寛明，織田雅次（日本農薬株式会社）

論文賞

Mamiko Shino, Takahiro Hamada, Yoshio Shigematsu, Kangetsu Hirase and Shinichi Banba

“Action mechanism of bleaching herbicide cyclopyrimorate, a novel homogentisate solanesyltransferase inhibitor”

(Journal of Pesticide Science, Vol. 43, No.4, p.233-239, 2018)

日本農薬学会賞授賞式(令和3年度分)

奨励賞

安部 潤（住友化学株式会社・生物環境科学研究所）

伊藤虹児（農研機構・農業環境変動研究センター）

業績賞(研究)

石原 亨（鳥取大学農学部）

仲下英雄（福井県立大学生物資源学部）

番場伸一（三井化学アグロ株式会社）

業績賞(技術)

大竹貴光¹，鎗田 孝²（¹産総研計量標準総合センター，²茨城大学農学部）

論文賞

Hideyuki Inui, Nonoka Katte, Junya Goto and Aya Iwabuchi

“High temperatures promote the uptake of hydrophobic pollutants by *Cucurbita pepo* via altered gene expression levels of major latex-like proteins”

(Journal of Pesticide Science, Vol. 45, No.2, p.75–80, 2020)

令和 2 年度日本農薬学会賞受賞者講演

*オンデマンド配信のみ

奨励賞

AL1 安東大介（住友化学株式会社・生物環境科学研究所）

「沈水有根植物フサモにおける農薬の代謝挙動に関する研究」

AL2 元木 裕（(独)農林水産消費安全技術センター農薬検査部環境影響審査課）

「農薬の土壌吸着特性と植物移行性に関する研究」

業績賞(研究)

AL3 片木敏行（住友化学株式会社・バイオサイエンス研究所）

「農薬の環境動態・代謝における理論有機化学的研究」

AL4 清田洋正（岡山大学大学院環境生命科学研究科）

「農薬創製に資する生物活性天然物に関する合成化学的研究」

業績賞(技術)

AL5 ○菊武和彦, 古谷敬, 長谷部元宏, 長井寛明, 織田雅次（日本農薬株式会社）

「殺菌剤ピラジフルミドの開発」

令和3年度日本農薬学会賞受賞者講演

*オンデマンド配信のみ

奨励賞

- AL6 安部 潤（住友化学株式会社・生物環境科学研究所）
「薬物動態的アプローチによる農薬のヒト安全性評価に関する研究」
- AL7 伊藤虹児（農研機構・農業環境変動研究センター）
「放線菌 PD653 株におけるヘキサクロロベンゼンおよびペンタクロロフェノールの好氣的脱塩素機構に関する研究」

業績賞(研究)

- AL8 石原 亨（鳥取大学農学部）
「イネ科植物における二次代謝が関与した防御機構の解明」
- AL9 仲下英雄（福井県立大学生物資源学部）
「植物生理機能を制御する農薬の作用機構に関する研究」
- AL10 番場伸一（三井化学アグロ株式会社）
「農薬の標的分子同定と薬剤抵抗性機構に関する計算科学的研究」

業績賞(技術)

- AL11 ○大竹貴光¹, 鎗田 孝²（¹産総研計量標準総合センター, ²茨城大学農学部）
「国際基準に対応した認証標準物質の開発と技能試験の実施」

特別講演

*オンデマンド配信のみ

- PL1 千葉一裕（東京農工大学長）
「「つくる責任つかう責任」と有機合成反応」
- PL2 Viivi Kuvaja（Associate Professional Officer, Plant Production and Protection Division, FAO）
*講演タイトル未定
コーディネーター：日比絵里子（国際食糧農業機関（FAO）駐日事務所長）

シンポジウム1

オンライン質疑応答：3月9日(火)11時5分～11時55分

「生物制御科学の未来を拓く～農業科学の新展開への挑戦～」

オーガナイザー：豊田剛己（東京農工大学大学院生物システム応用科学府）・
有江 力（東京農工大学副学長）

開会挨拶

S201 ハダニにおける environmental RNAi の学理構築と防除への応用
鈴木丈詞（東京農工大学大学院生物システム応用科学府）

S202 チャバネアオカメムシの発生量予測とビワ二重袋による防除効果
～メタアナリシスを活用した新たなEBC～
清水 健（千葉県農林総合研究センター）

S203 社会性昆虫マルハナバチのリスク評価手法の確立
井上真紀（東京農工大学大学院農学府）

S204 海洋付着生物に対する環境調和型付着防汚剤の開発
北野克和（東京農工大学大学院農学府）

S205 プラントアクチベーターによる植物ウイルス防御策
小松 健（東京農工大学大学院農学府）

S206 植物の乾燥ストレス応答を制御する分子開発
岡本昌憲（宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター）

S207 コケから顕花植物への進化から成長制御物質の生合成と機能を追う
川出 洋（東京農工大学大学院農学府）

閉会挨拶

シンポジウム2

オンライン質疑応答：3月10日(水)11時5分～11時55分

「生物と化学のはざまで」

共催：農薬バイオサイエンス研究会

オーガナイザー：野下浩二（秋田県立大学）・小松 健（東京農工大学）

開会挨拶

S301 ストリグラクトンの立体と構造の多様性

○上野琴巳¹，滝川浩郷²，杉本幸裕³

(¹鳥取大学農学部，²東京大学大学院農学生命科学研究科，³神戸大学大学院農学研究科)

S302 昆虫のトレハロース輸送体は薬剤標的となり得るか？

○菊田真吾¹，木内隆史²（¹茨城大学農学部，²東京大学大学院農学生命科学研究科）

S303 植物ウイルスの総合防除に向けた基礎研究

山次康幸（東京大学大学院農学生命科学研究科）

S304 結晶スポンジ法による機能性分子の構造解析

谷口慈将（キリンホールディングス株式会社）

S305 機能性ナノ孔を有する結晶材料

佐藤宗太（東京大学大学院工学系研究科）

S306 スマートデザインによる高性能標的結合ペプチドの創製

門之園哲哉（東京工業大学生命理工学院）

閉会挨拶

企業・団体セミナー

L1 農薬工業会

オンライン質疑応答：3月9日(火)12時～13時

演題：食料生産における作物保護の重要性

演者：廣岡 卓（農薬工業会事務局長）

L2 日本チャールス・リバー株式会社

オンライン質疑応答：3月9日(火)16時～17時

演題：Robust Residue Analysis: Your Guide to Successful Method Development

演者：David Macpherson, Pawel Markowicz（Charles River Laboratories Edinburgh）

L3 Landis International, Inc. [世話役：株式会社エルエスピー]

オンライン質疑応答：3月10日(水)10時～11時

演題：Update of Regulatory Actions from US EPA

ー米国 EPA からの規制措置に関する最新情報ー

演者：Roger Horton, Lisa Ayn Setliff（Landis International, Inc.）

L4 キシダ化学株式会社

オンライン質疑応答：3月10日(水)12時～13時

演題：医薬品研究のトレンドとキシダ化学の創薬支援事業

演者：渡辺 俊博（キシダ化学株式会社）

L5 Pharmaron UK [世話役：ビオブリッジ株式会社]

オンライン質疑応答：3月10日(水)16時～17時

演題：Recent Developments in the Dermal and *In Vitro* Metabolism Investigations of Plant Protection Products for Regulatory Submission

演者：Kathryn Webbley, Michael Hall（Pharmaron UK Ltd）

技術士セミナー

*オンデマンド配信のみ

コーディネーター：天野昭子(岐阜県農業技術センター)

演題：合格者体験談

演者：久保周子氏(千葉県農林総合研究センター)

浜崎健司氏(岐阜県病虫害防除所)

オンラインライブ質疑応答 日程一覧

	一般講演 A 会場	一般講演 B 会場	一般講演 C 会場	シンポジウム 企業セミナー
3 月 9 日(火)				シンポジウム 1
11:05-11:55				生物制御科学の 未来を拓く
12:00-13:00				企業セミナー 農業工業会
13:00-13:50 セッション 1	天然物化学・ 生物活性 A201-A205	作用機構・ 分子設計 B201-B204	合成プロセス・ グリーンケミストリー・ 分子設計 C201-C205	
14:00-14:50 セッション 2	天然物化学・ 生物活性 A206-A210	作用機構・ 抵抗性 B206-B209	合成プロセス・ グリーンケミストリー・ 分子設計 C201-C205	
15:00-15:50 セッション 3	天然物化学・ 生物活性 A211-A215	作用機構・抵抗 性・施用法 B210-B214	作用機構・抵抗性 C211-C214	
16:00-17:00				企業セミナー 日本チャールス・ リバー株式会社(英国)
3 月 10 日(水)				企業セミナー
10:00-11:00				LANDIS International Inc. (エルエスピー)
11:05-11:55				シンポジウム 2 生物と化学のはざままで
12:00-13:00				企業セミナー キシダ化学株式会社
13:00-13:50				
14:00-14:50 セッション 4	作用機構・ 抵抗性 A301-A305	作用機構・ 抵抗性 B301-B305	環境科学・残留分析 C301-305	
15:00-15:50 セッション 5	作用機構・ 抵抗性 A306-A310	環境科学・残留分 析・製剤・施用法 B306-B310	教育・その他 C306-C309	
16:00-17:00				企業セミナー Pharmaron UK (バイオブリッジ)

※企業セミナーにご出席された方々については、大会組織委員会とセミナー実施企業で参加記録を取らせて戴きますので、予めご了承戴けますと幸いです。対面開催の場合ですと事前チケット配布の際に、ご参加くださる方々の御名刺、またはご芳名を戴いておりますが、今回はオンラインライブ開催となりますので、その代替様式をとらせて戴きました。何卒、ご協力のほどお願い申し上げます。

大会日程表

第1日 3月8日(月)		第2日 3月9日(火)					第3日 3月10日(水)									
オンライン会場		オンライン会場					オンライン会場									
総会及び 日本農薬学会賞授賞式		開始時刻	A会場	B会場	C会場	シンポジウム・ 企業セミナー	開始時刻	A会場	B会場	C会場	シンポジウム・ 企業セミナー					
							10:00				企業セミナー LANDIS International inc. [エルエスピー]					
		11:00										シンポジウム1				
													12:00			企業セミナー 農薬工業会
		13:00				A201	B201				C201					
		13:10				A202	B202				C202					
		13:20				A203	B203				C203					
13:30	A204	B204	C204													
13:30	総 会	13:40	A205	B205	C205		14:00	A301	B301	C301						
		14:00	A206	B206	C206		14:10	A302	B302	C302						
		14:10	A207	B207	C207		14:20	A303	B303	C303						
		14:20	A208	B208	C208		14:30	A304	B304	C304						
		14:30	A209	B209	C209		14:40	A305	B305	C305						
		14:40	A210		C210		15:00	A306	B306	C306						
		15:00	学会賞等授与式	15:10	A211	B210	C211	15:10	A307	B307	C307					
		15:20	A212	B211	C212	15:20	A308	B308	C308							
15:35	受賞者スピーチ	15:30	A213	B212	C213	15:30	A309	B309	C309							
～		15:40	A214	B213	C214	15:40	A310	B310								
16:35		16:00				16:00										
						企業セミナー 日本チャール ス・リバー株式 会社 (英国配信)					企業セミナー Pharmaron UK [ピオブリッジ]					

一般講演座長一覧
オンラインライブ質疑応答

令和3年	A会場	B会場	C会場
3月9日(火)	長谷川守文	草島美幸	西脇 寿
セッション1	(A201-A205)	(B201-B205)	(C201-C205)
	宮崎 翔	岡澤敦司	矢島 新
セッション2	(A206-A210)	(B206-B209)	(C206-C210)
	野下浩二	乾 秀之	元場一彦
セッション3	(A211-A215)	(B210-B214)	(C211-C214)
3月10日(水)	畠本正浩	太田広人	山本幸洋
セッション4	(A301-A305)	(B301-B305)	(C301-C305)
	池田庸二	矢吹芳教	鎗田 孝
セッション5	(A306-A310)	(B306-B310)	(C306-C309)

第46回大会(東京)大会組織委員会 (東京農工大学)

大会組織委員長:有江 力

プログラム委員長:川出 洋 副委員長 渡邊裕純, 笠原博幸

会計:井上真紀 会場映像:鈴木丈詞 シンポジウム:豊田剛己, 小松 健

実行委員長:森山裕充 総務:北野克和

一般講演についてのお願い

各講演内容に関しましては、オンデマンド録画(3月6日午後12時～3月10日午後5時まで視聴可)を参加者の方々に見て戴き、予めチャットで質問内容を投稿していただきます。演者は振り分けられた時間帯(10分間の持ち時間)に、座長と会場系の同席の元で、予め投稿された質問内容に対する返答をして戴きます。この時、各オンライン会場にはZoomで入室して戴きます。入室の際に、大会MyPageのプログラム一覧の各演題のところにあるボタン(予定)をクリックして各会場のZoom URLにアクセスして戴きます。

尚、円滑な進行のために、各演者の方は予め各セッション各会場の開始時刻に同時に入室して戴けますことをお願い申し上げます。

ファイル作成の注意点

- (1) 発表1題につき1つのファイルを作成し、ファイル名は講演番号_講演者名(半角英数のみ使用).mp4としてください。(例: A101_nouyakutarou.mp4, 音声付動画です)
- (2) 発表時間は1題12分(講演12分)です。12分の発表時間に適したスライドの枚数にしてください。
- (3) スライド中に使用するフォントは、文字化けを防ぐために機種依存文字(①, (株)など)の使用は、極力避けてください。
- (4) 発表動画は、Zoomまたはパワーポイントなど利用して音声付動画を録画して作成してください。
- (5) 作成した動画は、大会マイページよりプログラムにドラッグで登録します。登録前に作成した動画ファイルがスムーズに再生ができることを確認してください。

データ受付の流れ

- (1) 発表のファイルは必ず3月5日までに「大会マイページ」よりアップロードしてください(全てmp4形式)。
- (2) 作成した動画ファイルをアップロードするプログラムは、2月下旬ごろに公開します。「大会マイページ」からログインいただくとご覧いただけるようになります。
- (3) 大会終了後は、アップロードされた発表データは大会組織委員立会いの下、確実に削除致します。

質疑応答について

- (1) 参加者はオンデマンドで動画を開催期間中(3月6日正午～3月10日午後5時)視聴でき、予めHP上で質問を入力することが可能です。
- (2) 演者は質疑応答時間までに投稿された質問を見た上で、質疑応答時間に必ず会場(zoom)に入室し、口頭で回答してください。
- (3) 質疑応答会場には座長と演者が入出していますので、質問などのある方は入室し、演者と討論いただけます。

一般講演
オンデマンド講演録画 12 分, 質疑応答 10 分

質疑応答の時間		第 2 日 3 月 9 日(火) A 会場
13:00-13:10	A201	根寄生雑草ヤセウツボの発芽におけるプランテオースの代謝部位 ○岡澤敦司^{1,2}, 岡野ひかる¹, 新聞秀一³, 小川拓水¹, 杉本幸裕^{2,4}, 太田大策¹ (¹ 阪府大院・生命環境, ² JST/JICA・SATREPS, ³ 阪大院・工, ⁴ 神戸大院・農)
13:10-13:20	A202	活性型ジベレリンの欠乏がリンゴの樹形を円柱状にする ○中嶋正敏¹, 渡辺大智¹, 高橋郁夫¹, Jaroensanti-Takana Naiyanate¹, 宮崎翔¹, 姜凱¹, 中安大², 和田雅人³, 浅見忠男¹, 水谷正治², 岡田和馬³ (¹ 東大院・農, ² 神戸大院・農, ³ 農研機構・果樹茶部門)
13:20-13:30	A203	ワラビー萎縮症誘発物質の同定に向けた生物試験法の検討 ○宮崎翔¹, 遠藤碧¹, 松井奏¹, 笠原慶太¹, 徳田誠², 犀川陽子¹ (¹ 慶應義塾大学・理工学部, ² 佐賀大学・農学部)
13:30-13:40	A204	イネのフラボノイドに関するナチュラルバリエーション ○倉田堯直¹, 假谷佳祐², 村田晃一², 上野琴巳¹, 寺石正義³, 石原亨¹ (¹ 鳥取大農, ² 鳥取大院持続性社会, ³ 京都大院農)
13:40-13:50	A205	リンゴ果実のモモンクイガ幼虫に対する複合的な食害応答の解析 ○大畑勇統¹, 石栗陽一², 森直樹¹, 吉永直子¹ (¹ 京大院・農, ² 青森産技セ りんご研)
14:00-14:10	A206	ジャスモン酸メチルによってイネ根部で誘導されるジテルペノイドファイトアレキシン類の探索 ○早川優介^{1,2}, 手塚大介², 菊地爽太³, 今井亮三², 豊増知伸³, 戸嶋浩明¹, 長谷川守文¹ (¹ 茨城大・農, ² 農研機構・生物機能, ³ 山形大・農)
14:10-14:20	A207	根寄生雑草 <i>Striga</i> におけるジベレリン生理作用発現機構に関する研究 ○陳嘉政, 高橋郁夫, 竹内瑞穂, 王建文, 中村英光, 中嶋正敏, 浅見忠男 (東大院・農生科)
14:20-14:30	A208	イネ新規アシルスペルミジンの高温に対する機能解析 ○高橋郁夫, 山野博之, 中村英光, 浅見忠男 (東大院・農生科)
14:30-14:40	A209	シイタケ廃菌床由来揮発性物質 3-オクタノンの植物病原菌に対する抗菌活性 ○武藤悠¹, 福島えみ², 石原亨³, 大崎久美子³ (¹ 鳥取大院持続性社会, ² 日本きのこセンター菌蕈研, ³ 鳥取大農)
14:40-14:50	A210	ダイズの在来種 Peking が持つハスモンヨトウ抵抗性の分子基盤 ○中田隆^{1,2}, 矢野まりこ³, 平賀勸², 寺石政義³, 奥本裕^{3,4}, 森直樹³, 加賀秋人² (¹ 京都先端科学大学・バイオ環境学部, ² 農研機構・次世代作物開発研究センター, ³ 京都大学大学院・農学研究科, ⁴ 摂南大学・農学部)

第 2 日 3 月 9 日(火) A 会場

15:00-15:10	A211	青枯病菌 MAFF211479 株が産生するリポペプチド <i>ralstoamide</i> 類の合成欠損株作製と生物活性評価 ○津守千亜希, 小松頌子, 甲斐建次 (阪府大院・生命環境)
15:10-15:20	A212	植物保護細菌 <i>Pseudomonas protegens</i> MAFF212077 株が産生する <i>protegenin</i> 類の単離・構造決定 ○末永真友菜, 村田和也, 甲斐建次 (阪府大院・生命環境)
15:20-15:30	A213	青枯病菌 <i>Ralstonia solanacearum</i> MAFF211519 株が産生する新規リポペプチドの単離・構造決定 ○松川奈央, 甲斐建次 (阪府大院・生命環境)
15:30-15:40	A214	A new member of asteltoxin analogs with a 3,5-dimethyl-2-pyrone moiety produced by Pochonia suchlasporia TAMA 87 ○Syaefudin Suminto ¹ , Eri Takatsuji ¹ , Ayako Iguchi ¹ , Hiroshi Kanzaki ¹ , Toru Okuda ² , Teruhiko Nitoda ¹ (¹ Graduate School of Environmental and Life Science, Okayama University; ² HyphaGenesis Inc.)
15:40-15:50	A215	ヤエヤマサソリの毒液に含まれる抗菌性ペプチドの同定と活性評価 三谷直也, ○宮下正弘, 中川好秋, 宮川恒(京大院農・応用生命)

質疑応答の時間		第 2 日 3 月 9 日(火) B 会場
13:00-13:10	B201	2 種の植物ホルモン信号伝達制御剤 NJ15 耐性変異体の解析 ○塩谷輝 ¹ , 田中ナイヤネート ¹ , 宮崎翔 ¹ , 細井昂人 ² , 田中啓介 ³ , 伊藤晋作 ² , 井内聖 ⁴ , 中野雄司 ⁵ , 小林正智 ⁴ , 中嶋正敏 ¹ , 浅見忠男 ¹ (¹ 東大院・農生科, ² 東京農大・バイオ, ³ 東京農大・NGRC, ⁴ 理研・BRC, ⁵ 京大院・生命)
13:10-13:20	B202	新規ストリゴラクトン生合成阻害剤開発のためのリード化合物探索 ○川田紘次郎 ¹ , 内田裕也 ¹ , 高橋郁夫 ² , 野村崇人 ³ , 佐々木康幸 ¹ , 浅見忠男 ² , 矢嶋俊介 ¹ , 伊藤晋作 ¹ (¹ 東京農大・バイオ, ² 東大院・農生科・応生化, ³ 宇都宮大・バイオ)
13:20-13:30	B203	シクロプロペン類縁体のシロイヌナズナ黄化実生に対する生理作用 ○小山倫之, 太田鋼, 浅見忠男 (東大院・農生科・応生化)
13:30-13:40	B204	共有結合型受容体阻害剤を用いたストリゴラクトン生理作用発現機構の解析 ○大沼彩香, 喜久里貢, 胡文倩, 平山遼太, 中村英光, 浅見忠男 (東大農・農生科・応生化)
13:40-13:50	B205	根寄生雑草寄生防除を目的としたジベレリン様活性化合物の創製と応用 ○竹内瑞穂, 陳嘉政, 王建文, 高橋郁夫, 太田鋼, 下高原宏明, 姜凱, 中村英光, 中嶋正敏, 浅見忠男 (東大院・農生科・応生化)
14:00-14:10	B206	植物免疫抑制剤 NAS1 が全身獲得抵抗性に及ぼす影響の解析 ○草島美幸, 青木智史, 高橋郁夫, 姜凱, 中村英光, 浅見忠男 (東大院・農生科)
14:10-14:20	B207	シロイヌナズナの全身性の病害抵抗性におけるビタミン E 生合成の解析 ○藤田萌香 ¹ , 草島美幸 ² , 浅見忠男 ² , 仲下英雄 ¹ (¹ 福井県立大院・生資, ² 東大院・応生化)
14:20-14:30	B208	ヒートショック処理による NPR1 非依存的な病害抵抗性で働く OZF2 遺伝子の機能解析 堀田里奈 ¹ , 藤田萌香 ¹ , 草島美幸 ^{1,3} , 牛渡司 ² , 井上真依 ¹ , 一瀬智美 ² , 山口千仁 ² , 西内巧 ⁴ , 丸山明子 ² , 〇仲下英雄 ¹ (¹ 福井県立大院・生資, ² 九大院・農, ³ 東大院・応生化, ⁴ 金沢大・学際セ)
14:30-14:40	B209	講演取り消し

第 2 日 3 月 9 日(火) B 会場

15:00-15:10	B210	イネの酢酸/プロピオン酸処理による乾燥耐性獲得時の代謝物分析 ○原なつき¹, 吉永直子¹, 土生芳樹², 寺石政義¹, 奥本裕³, 森直樹¹(¹京大農, ²農研機構, ³摂南大農)
15:10-15:20	B211	メミノストロビンの抵抗性誘導作用に関する研究(3) メミノストロビンはシロイヌナズナの MAP キナーゼを活性化する ○伊藤千晶¹, 小原七海¹, 佐藤穂高², 市成光広³, 山田 晶³, 櫻本和生³, 白石 慎³, 山本 隆³, 松井英譲^{1,2}, 能年義輝^{1,2}, 山本幹博^{1,2}, 一瀬勇規^{1,2}, 白石友紀⁴, 豊田和弘^{1,2}(¹岡大・農, ²岡大・院環生, ³住商アグロ, ⁴岡山生物研)
15:20-15:30	B212	メミノストロビンの抵抗性誘導作用に関する研究(4) メミノストロビンはシロイヌナズナにおいて PTI 関連遺伝子の発現を促進する 小原七海¹, 伊藤千晶¹, 佐藤穂高², 市成光広³, 山田 晶³, 櫻本和生³, 白石 慎³, 山本 隆³, 松井英譲^{1,2}, 能年義輝^{1,2}, 山本幹博^{1,2}, 一瀬勇規^{1,2}, 白石友紀⁴, ○豊田和弘^{1,2}(¹岡大・農, ²岡大・院環生, ³住商アグロ, ⁴岡山生物研)
15:30-15:40	B213	Triafamone - A unique mechanism allows selectivity in rice application ○Wolfgang Schulte^a, Koichi Araki^{b,1}, Yoshitaka Satob, Masanori Oi^b, Shin Nakamura^b (^aBayer AG, CropScience Division, ^bBayer CropScience K.K.)
15:40-15:50	B214	アクシーブ®とジフルフェニカン混用の北海道コムギ用除草剤としての適用性 ○胡文倩, 古川雄斗, 鈴木崇哉, 板屋大吾, 光成崇(クミアイ化学工業(株))

質疑応答の時間		第 2 日 3 月 9 日(火) C 会場
13:00-13:10	C201	芳香族アミノ酸類を標的とした水素-重水素交換反応の検討 Tachrim Zetryana Puteri, Wang Lei, 村井勇太, 崎浜靖子, 橋床泰之, ○橋本誠 (北大院・農)
13:10-13:20	C202	電解発生イミニウムカチオン種の構造解析および反応性制御に基づくイミノ糖 C-グリコシド類の合成 ○岡本一央, 筒井瑞季, 北野克和, 千葉一裕 (東農工大・院)
13:20-13:30	C203	超原子価ヨウ素を用いたチオシアン酸エナミン誘導体及び 2-イミノチアゾリン誘導体の合成 ○松井大樹, 園田素啓, 谷森紳治 (阪府大院・生命環境)
13:30-13:40	C204	Triafamone - Searching for the holistic solution: Process Research from laboratory to production ○Mark James Ford¹, Yoshitaka Sato², Koichi Araki² (¹Bayer AG, CropScience Division, ²Bayer CropScience K.K.)
13:40-13:50	C205	トウモロコシのファイトアレキシシン zealexin A1 の不斉合成と絶対立体配置 ○矢島新, 志村美夏帆, 斉藤竜男, 勝田亮, 石神健 (東農大・生命)
14:00-14:10	C206	幼若ホルモンアンタゴニスト NY52 誘導体の合成と薬理学的特性 ○古田賢次郎¹, 山田直子², 粥川琢己¹ (¹農研機構・生物研, ²島根大・生資科)
14:10-14:20	C207	赤痢アメーバ症治療薬を目指したフマギリン誘導体の開発研究 ○森聡一朗¹, Revyan M. Yudhistira¹, 住井裕司¹, 森美穂子², 梅木優子³, 中野由美子³, 野崎智義², 柴田哲男¹ (名工大院工¹, 東大院医², 感染研³)
14:20-14:30	C208	海洋環形動物 <i>Thelepus clispus</i> より単離された Thelepamide のモデル合成研究 ○芦田直樹, 井田浩介, 泉実, 清田洋正 (岡山大院・環境生命)
14:30-14:40	C209	コレラ菌 Na⁺輸送型 NADH-キノン酸化還元酵素の NqrB サブユニットの位置特異的化学修飾法の確立 ○石川萌¹, 榊谷貴洋¹, 田中比奈子¹, 村井正俊¹, Blanca Barquera², 三芳秀人¹ (¹京都大院・農・応用生命, ²レンセラー工科大(米国)・生物科学)
14:40-14:50	C210	除草剤イソキサベンの誘導体合成とそのキチン合成阻害活性の評価 ○森湖太郎, 徳岡秀哉, 中川好秋, 宮川恒 (京大院農)

第2日 3月9日(火) C会場

15:00-15:10	C211	カイコチラミン受容体サブタイプ間での精油のアロステリック様作用の比較 ○吉川拓馬 ¹ , 高松亮太 ² , 太田広人 ¹ (¹ 崇城大・生物生命, ² 熊大院・自然科学)
15:10-15:20	C212	セイヨウミツバチ由来ニコチン性アセチルコリン受容体の機能発現法の確立 ○伊原誠, 小森勇磨, 神谷昌輝, 松田一彦(近畿大院・農)
15:20-15:30	C213	ポリフェノール類を代謝する昆虫・硫酸転移酵素の機能解析 ○山本幸治 ¹ , 水光正仁 ² , 榊原陽一 ² , 黒木勝久 ² (¹ 九大・院農, ² 宮大・院農)
15:30-15:40	C214	ジノテフランおよびイミダクロプリド感受性に関わるトビイロウンカのニコチン性アセチルコリン受容体サブユニットの同定 ○松原佳輝 ¹ , 田中優史 ² , 松野景 ² , 尾添富美代 ³ , 野村和希 ⁴ , 中尾俊史 ⁴ , 番場伸一 ⁴ , 篠田徹郎 ⁵ , 塩月孝博 ^{1,2} , 尾添嘉久 ^{2,3} (¹ 島根大院自然科研, ² 島根大生物資源, ³ 島根大総科研, ⁴ 三井化学アグロ農化研, ⁵ 福島大農)

質疑応答の時間		第 3 日 3 月 10 日(水) A 会場
14:00-14:10	A301	カスガマイシン耐性テンサイ褐斑病菌の耐性機構の解析 ○長谷川久和, 原圭佑, 市橋葵, 北雄一, 松尾広信(北興化学工業株式会社)
14:10-14:20	A302	2つの新規エンドルナウイルスが同時感染したアスパラガス疫病菌の遊走子嚢形成と殺菌剤感受性 ○内田景子 ¹ , 作田康平 ¹ , 井藤碧吏 ¹ , 岡田亮 ² , 福原敏行 ¹ , 植松清次 ¹ , 森山裕充 ¹ (農工大院農 細胞分子 ¹ ・茨城園芸研 ²)
14:20-14:30	A303	輸入植物球根から分離されたヒト病原真菌における農薬耐性進化の可能性 ○萩原大祐 ^{1,2} , 老木紗予子 ¹ , 楠屋陽子 ³ , 高橋弘喜 ^{3,4} (¹ 筑波大学・生命環境系, ² 筑波大学・微生物サステナビリティ研究センター, ³ 千葉大学・真菌医学研究センター, ⁴ 千葉大学・分子キラリティー研究センター)
14:30-14:40	A304	DMI 剤耐性菌の新規薬剤メフェントリフルコナゾールに対する交差耐性 ○石井英夫 ^{1,2} ・Bryson, P. K. ² ・栢森美如 ³ ・宮本拓也 ⁴ ・山岡裕一 ¹ ・Schnabel, G. ² (¹ 筑波大・ ² 米国クレムソン大・ ³ 十勝農試・ ⁴ 茨城園研)
14:40-14:50	A305	ピロールニトリンに対する <i>Penicillium</i> 属糸状菌の獲得耐性 ○老木紗予子 ¹ , 矢口貴志 ² , 萩原大祐 ^{1,3} (¹ 筑波大・生命環境系, ² 千葉大・真菌医学研究センター, ³ 筑波大・MiCS)
15:00-15:10	A306	トルコギキョウ斑点病菌に対するメチルイソチオシアネート(MITC)ガス濃度と殺菌効果 ○森田展樹, 岡美佐子, 山崎淳紀, 島本文子(高知県農技セ)
15:10-15:20	A307	新規殺菌剤キノプロール®(ミギワ®)の殺菌効果と特徴 ○栗原頼人, 西野千尋, 藤井孝行, 斎賀睦幸(日本曹達株式会社)
15:20-15:30	A308	汚染物質輸送因子 Major latex-like protein の遺伝子発現と結合活性の制御によるウリ科作物汚染の低減化 ○藤田健太郎 ¹ , 近藤恭光 ² , 本田香織 ² , 羽賀雄紀 ³ , 長田裕之 ² , 松村千里 ³ , 乾秀之 ^{1,4} (¹ 神戸大院・農, ² 理研・CSRS, ³ 兵庫県環境研セ, ⁴ 神戸大・バイオ)
15:30-15:40	A309	人工キノン類を用いた呼吸鎖複合体-I のキノン結合ポケットの構造特性の解明 ○宇野晋平 ¹ , 榎谷貴洋 ¹ , 新澤(伊藤)恭子 ² , 志波智生 ³ , 稲岡健ダニエル ⁴ , 村井正俊 ¹ , 三芳秀人 ¹ (¹ 京都大・農学, ² 兵庫県立大・生命理学, ³ 京都工芸繊維大・工芸科学, ⁴ 長崎大・熱帯医学)
15:40-15:50	A310	有機フッ素化合物の農薬産業への貢献 小川雄大, 徳永恵津子, ○柴田哲男(名工大院工)

質疑応答の時間		第 3 日 3 月 10 日(水) B 会場	
14:00-14:10	B301	δ-BHC に F あるいは Cl 原子が付加した誘導体の殺虫活性と中毒症状 ○田中啓司 ¹ , 岩井崇晃 ¹ , 古谷章悟 ¹ , 鈴木克規 ² , 尾添嘉久 ³ , 松田一彦 ¹ (¹ 近畿大農, ² 名古屋大学工, ³ 島根大生物資源)	
14:10-14:20	B302	新規ウンカ防除剤ベンズピリモキサン(オーケストラ®)に関する研究(第 5 報)ー作用機構:キチン生合成およびエクジステロイド濃度推移に対する影響ー 松倉啓一郎 ¹ , 田中良明 ¹ , ○中野元文 ² , 村田洋平 ² , 大塚悠河 ² , 藤岡伸祐 ² (¹ 農研機構 生物機能利用研究部門, ² 日本農薬株式会社)	
14:20-14:30	B303	水稻のトビイロウンカに対する本田防除剤へのポリオキシエチレンアルキルエーテル含有展着剤の加用効果 ○成富毅誌・井手洋一(佐賀農業セ)	
14:30-14:40	B304	イミダゾリジン環エチレン部位にジメチル基を有するイミダクロプリド類縁体の生物活性の評価 ○山村円香, 米山香織, 山内聡, 西脇寿(愛媛大院・農)	
14:40-14:50	B305	調合油乳剤のハダニ殺卵機構 武田直樹(農工大・BASE), 高田愛弓(農工大・BASE), 野山晋平(農工大・BASE, OAT アグリオ), Noureldin Abuelfadl Ghazy(農工大・BASE), Dagmar Voigt(ドレスデン工科大・生物), ○鈴木丈詞(農工大・BASE)	
15:00-15:10	B306	土壌・木炭還流法を用いた水田土壌からのイミダクロプリド分解菌の集積と分解代謝物の構造推定. ○高木和広 ¹ , 伊藤虹児 ¹ , 清田洋正 ² (¹ 国研) 農研機構・農業環境変動研究センター, ² 岡山大院・環境生命科学研究科)	
15:10-15:20	B307	講演取り消し	
15:20-15:30	B308	ベトナムハノイ市における大気粒子状物質に含有される除草剤密度の季節変動に関する予備的解析 ○Nguyen Hai Doan ¹ , Hanh Thi Duong ² , Yoshinari Tanaka ¹ (¹ Sophia University, Tokyo, Japan. ² Institute of Environmental Technology, Vietnam Academy of Science and Technology, Vietnam)	
15:30-15:40	B309	黒ボク土におけるメチルイソチオシアネート(MITC)に対する土壌中窒素の形態変化と土壌病害虫の感受性比較 ○山本幸洋, 武田藍, 金子洋平, 鐘ヶ江良彦 ¹ , 横山とも子, 小原裕三 ² (千葉農林総研・ ¹ 現、君津農業事務所・ ² 農研機構農業環境変動研究センター)	
15:40-15:50	B310	水に濡れると薬剤を放出する有機メソカプセルの開発 ○小木曾真樹(産業技術総合研究所・機能化学研究部門)	

質疑応答の時間		第3日 3月10日(水) C会場
14:00-14:10	C301	POCIS を用いたパッシブサンプリング法による河川水中の除草剤および殺菌剤の6月および8月の検出傾向 ○矢吹芳教¹, 野呂和嗣¹, 伴野有彩¹, 稲生圭哉², 横山淳史²(¹ 大阪府環農水研, ² 農研機構 農環研)
14:10-14:20	C302	パッシブサンプリング法による河川水中の水田用農薬モニタリングー埼玉県内の河川におけるサンプリング法の妥当性ー ○成田伊都美, 山崎晴民(埼玉県農業技術研究センター)
14:20-14:30	C303	環境中共変量を考慮した水稻用農薬の水田水中動態解析 ○近藤圭, 若曾根佳樹, 飯島和昭, 大山和俊(一般財団法人残留農薬研究所)
14:30-14:40	C304	超高温水を溶媒とした残留農薬の抽出における抽出モードの比較 ○鎗田孝, 長谷川敦彦, 多田寛子(茨城大学農学部)
14:40-14:50	C305	厚生労働省通知法による残留農薬分析における葉ごぼう及びいちじく由来のマトリックス効果の比較及び糖類のマトリックス効果に対する影響調査 ○伴野有彩, 矢吹芳教(大阪府立環境農林水産総合研究所・環境研究部), 園田素啓, 谷森紳治(大阪府立大学大学院・生命環境科学研究科)
14:00-14:10	C306	農薬に関するオンデマンド授業における小さな工夫(その1) ー「クイズコーナー」ー ○巢山弘介 (島根大学学術研究院環境システム科学系, 担当:生物資源科学部)
14:10-14:20	C307	農薬に関するオンデマンド授業における小さな工夫(その2) ー「ざんねんな のうやく 事典」ー ○巢山弘介 (島根大学学術研究院環境システム科学系, 担当:生物資源科学部)
14:20-14:30	C308	農薬に関するオンデマンド授業における小さな工夫(その3) ー「オンデマンドサポート」ー ○巢山弘介 (島根大学学術研究院環境システム科学系, 担当:生物資源科学部)
14:30-14:40	C309	農薬に関するオンデマンド授業における小さな工夫(その4) ー「あらすじファイル」と「創作活動」ー ○巢山弘介 (島根大学学術研究院環境システム科学系, 担当:生物資源科学部)

大会組織委員会運営本部場所案内

本大会はオンデマンド開催となりますので、会場はありませんが、大会組織委員会運営本部を以下の場所に設置しましたのでお知らせいたします。

東京農工大学農学部府中キャンパス本館講堂 (<https://www.viewhotels.co.jp/akita/access/>)

(総会，学会賞授賞式，受賞者スピーチ)

アクセス

京王線「府中駅(KO24)」3番バス乗場から京王バス(寺91系統)「(明星学苑経由)国分寺駅南口行」約5分、
「晴見町(東京農工大学前)」バス停下車すぐ

JR中央線「国分寺駅(JC16)」下車、南口2番バス乗場から京王バス(寺91系統)「(明星学苑経由)府中駅行」約10分、「晴見町(東京農工大学前)」バス停下車すぐ

JR武蔵野線「北府中駅(JM34)」から徒歩12分



東京農工大学農学部府中キャンパス広域案内図



府中キャンパス構内 案内図

